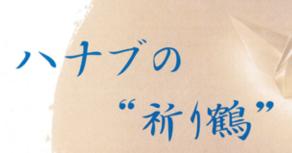
ハナブ商店でお葬儀を執り行う皆様方に......。



想いをかたなに・・・

"祈你狗"とは

日本が独自の伝統といて平安時代より持り数文化は始まったと言われています。 当時は文書の形式の一つと「特別級」と言い、横長の級と二つ特別に、持り目を下にいて手級や目録を書きました。 また、江戸時代には美術品や刀剣などの仮定書に対り級が使われるようになり持り級付き」という言葉が生まれました。 昔から持り級には特別言葉をしたためるものでした。その想いが届くようにと持られた職、それが"特別書です。

ご用意いたははた前り板に一言メッセージを書いていただいた前り鳴き、故人様のお極へとお届け致はす。

大切な故人様へ

「感謝の気持ち」や「亡くなられた今。伝えたい言葉、祈り」

「伝えることのできなかった想い」

折り紙に『想い』を込め、お届けしませんか?

お葬儀の際、事前相談の際など、お申し付けください。 ご準備をさせて頂きます。

